

年頭のご挨拶

お慶びを申し上げます



上ノ国町長

工藤 昇

町民の皆様、あけましておめで
とうございます。

希望に満ちた輝かしい令和八年
の初春を、ご家族お揃いで健やか
にお迎えのことと、心からお慶び
申し上げます。

私は、町民の皆様の温かいご支
援のもと、悠久の歴史と伝統に輝
く上ノ国町の町長として光栄にも
六期目を担わせていただいております。残任期も半年を切り、これ
までの取組を確かな成果へと結び
付ける大切な節目の年を迎えるこ
ととなりました。

就任以来、今日に至るまで、私
は「私たち町民一人ひとりが現状
を自覚し、一人ひとりがこの町を
変える意思を示す」という基本姿
勢のもと、行財政改革による財政
健全化、産業基盤の強化、子育て
支援をはじめとする少子化対策な
ど、時代の要請に応じたさまざまな
課題に、議会ならびに町民の皆
様のご理解とご協力をいただきな
がら、全力で取り組んでまいりま
した。

この間、皆様から賜りました深
いご理解と、格別のご協力に対し、
心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし令和七年を振り返
りますと、一月に宮崎県沖の日向
灘を震源とする強い地震が発生
し、南海トラフへの不安が高まる
中、三月には政府の中央防災会議
が南海トラフ巨大地震の被害想定
を十年ぶりに全面的に見直して公
表し、防災意識の重要性が改めて
問われました。四月には大阪・関
西万博が開幕し、準備段階では批
判も多かったものの、インバウン
ド需要も急増し、終盤は連日超満
員となるなど評価が持ち直し、会
期百八十四日間を終え、閉幕しま
した。そうした中、十月には日本
初の女性首相となる高市早苗内閣
が発足し、自民党と日本維新の会
などとの枠組みで、積極財政や防
衛力強化を掲げるなど、令和七年

を象徴する政治の動きとなりました。
日本経済は、「物価高対策・
子育て支援」と「防衛力強化」と
いう二つの大型財政支出を同時に
抱える局面に入ったと言えます。

町内の出来事を振り返ります
と、何よりも町内各地でのヒグマ
出没への対応が、町にとって大き
な課題となった一年でありまし
た。関係機関とも連携しながら、
「有事」として対応に当たり、そ
の結果、百五頭を捕獲し、事故な
く一年を終えることができました。
これは、町民の皆様お一人お
ひとりが安全に配慮し、情報提供
や見守りにご協力くださった賜物
です。引き続き「命を守る」こと
を最優先に、迅速な情報共有と対
策を徹底してまいります。

一方で、人口減少や物価高騰、
担い手不足など、地域を取り巻く
課題は年々厳しさを増していま
す。こうした時代だからこそ、本
町は「暮らしを守る」とことと「未
来をつくる」ことを同時に進めて
いかなければなりません。昨年は、
その基盤づくりとして、政策面でも
大きな前進がありました。

本町では昨年を「GX元年」と
位置付け、七月三十日付で檜山沖
の海域が海洋再生可能エネルギー
発電設備整備促進区域に指定され
たことにより、関連産業や人材の
流れを町に呼び込み、若い世代が